

ペット賠償責任特約※の事故発生状況

※「ペット賠償責任特約」：ご契約いただいているどうぶつが咬みついたり、引っかいたりすることなどによって、他人*1に身体障害や財物損壊の被害を与え、法律上の「損害賠償責任」が生じた場合の賠償金等を補償する特約*2

*1 保険契約者および被保険者にあてはまらない者 *2 傷病の診療費用を補償する主契約に特約として追加する

事故の分類と発生割合

対どうぶつ事故

ほかのどうぶつ(犬、猫など)の身体に傷害を与えた事故
動物病院での治療費などが発生する

対人事故

他人の身体に障害を与えた事故
治療費や休業損害、慰謝料などが発生する

実際の事故例

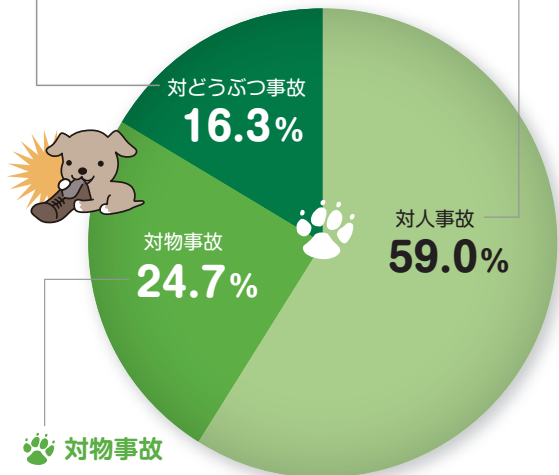
- バーニーズ・マウンテン・ドッグ
2歳、男の子
- 被害状況 → 手指の咬み傷
- 支払保険金の額 → 120,000円
(被害者への治療費など)

詳細

散歩中に見知らぬ男性がお座りしていた契約犬に近づいた。男性が急に手を差し出したため、契約犬が飛びついて右手親指と人差し指付け根部分を咬んでしまった。
被害者がなでようとして手を出した場合でも、ワンちゃんは怖がったり、攻撃されたらとって咬んでしまうことがあります。ご家族はわが子の性格や状態をよく観察し、見知らぬ人が不用意に手を出す状況にならないよう注意が必要です。

対物事故

他人の財物に損壊を与えた事故



事故分類	件数	支払保険金の額 (平均、円)
対人事故	541	120,000
うち対人+対物	66	
うち対人+対どうぶつ	21	
うち対人+対物+対どうぶつ	2	
対物事故	227	71,000
対どうぶつ事故	150	32,000
うち対物+対どうぶつ	2	
総計	918	94,000



実際の事故例

- ボーダー・コリー、4歳、男の子
- 被害状況 → 来客者の顔面の咬み傷
- 支払保険金の額 → 80,000円 (被害者への治療費など)
- 詳細 → 自宅に宅配便が届いた際の事故。玄関を開けた途端、宅配業者に飛びかかり、歯が顔面にあたり出血してしまった。救急車を呼んだ。

対人事故では来客者が被害にあう事故が多く、そのなかでも多い事故は宅配業者などが来訪した際にワンちゃんが飛び出して、咬傷事故となるケースでした。玄関はワンちゃんにとってテリトリーの入り口であり、防御反応が動きやすい場所でもあります。日頃からチャイムの音に反応する子などはとくに注意が必要です。

注意

首輪・リードが原因で起こる事故があります

※自宅敷地外の事故のみ

リード・首輪の状況	件数	割合(%)
リードをしていなかったこと	32	40.5
リード・首輪が外れてしまった すっぽ抜けてしまった	35	44.3
リードや首輪が破損した	12	15.2
総計	79	-

リードを付けずに散歩をさせていたことに起因する事故のほか、リード(金具を含む)の破損や首輪のサイズの不適合で外れてしまうなどが原因となった事故、急にワンちゃんが走り出したことに対応しきれず、リードを手から離してしまったという事故がみられました。

実際の事故例

- 秋田犬、6歳、女の子
- 被害状況 → ほかのワンちゃんへの咬み傷
- 支払保険金の額 → 70,000円 (被害犬の治療費など)
- 詳細 → 散歩中、ほかのワンちゃんをみかけた際に興奮して暴れたため、止めようとして首輪をつかんだところ首輪が外れてしまい、そのワンちゃんのお尻に咬みついてしまった。



*対象：2008年4月～2012年4月の間にペット賠償責任特約に対する保険金を支払った918件について発生状況を分析した。